KSKQ (オリーブだより) 第3種郵便物承認 通巻11072号2025年10月22日発行(1)

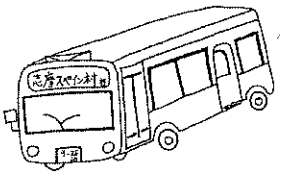
KSKQ オリーブだより

2025年度 第2号

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1.2.3.5.6.8の日)発行

秋の一泊旅行

9月25、26日に1泊旅行に行ってきました。



今回、私は旅行委員でした。何回か会議をして旅行先の候補地をいくつか決め、メンバーさんに投票してもらい、今回は伊勢となりました。

旅行の行程を選んだり、バスの中でのクイズ大会の問題を考えたり、バスで歌う歌を選曲、しおりのイラストや文字などを描いたり、と少しずつ旅行に向けて完成させていきました。

旅館の鯨望荘にて。温かく迎えていただきました

そして、いよいよ旅行出発！旅行中の委員の役割は初めの挨拶、クイズの出題、初日の夕飯時の挨拶、参加されなかった人へのお土産選び、など。旅行前も旅行中も色々役割があることで、旅行を一緒に創っていると感じました。

旅館前の浜辺で。ズボンが盛大に濡れました

忙しくもありましたが、楽しもう、盛り上げていこう、という気持ちになり、バスが東野に帰り着いた時には達成感がありました。

待ってました。赤福氷

オリーブ旅行での伊勢は2回目で、前回も委員をしていたからか、懐かしさや感慨深いものがあるのに新鮮な気持ちもあって不思議な感覚でした。

夜の遊び部屋。10人以上でババ抜き。山科カルタも登場

場所がどこであれ、皆で一緒に色んな体験をして、笑い合い、美味しいものを食べたり、と時間を共有することが何より大切で、この気持ちを味わうために毎年楽しみにしているんだな、と改めて感じた旅行でした。(FUKU)

VISONにて
ヒノキのキーホルダー・アロマバスボム作り。
持って帰った思い出

それぞれの感想

●ジャニートゥ エスパーニャ！ジャニートゥ伊勢！

9月25日(木)、9月26日(金)は1泊2日旅行でした。

自分自身にとっては、10数年ぶりの伊勢でした。天気が2日間とも良かったのが、一番うれしかった。

バスの中でのゲーム大会も、2日目に訪ねたVISONも楽しかった。もちろん、宿泊した鯨望荘からの景色もすばらしかったです。

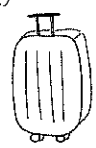
ふだん一緒に作業させてもらっているメンバーさんやスタッフさんの新しい発見も出来ました。(前進我道)

☆スペイン村楽しかったし、泊まった宿(温泉、料理)もよかった。

めちゃめちゃ楽しかった。また来年オリーブの旅行に行きたいです。(Y.K)

★スタッフさんに連れていってもらい、楽しくおいしいものが食べられて、施設長におなかが痛くなるまで食べられて、よかったねって。健康じゃなきゃ来れないって。うれしいです。

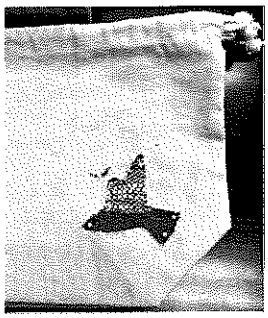
☆赤福のかき氷がおいしすぎてびっくり!!
また食べたい。



●ジェットコースターが良かった。スリルがありました。もっと心臓がバクバクなると思いましたが。82歳で乗っていいんでしょうか。(三島)(←年齢制限のないジェットコースターでした)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認　毎月(1.2.3.5.6.8の日)発行

自主製品のこと



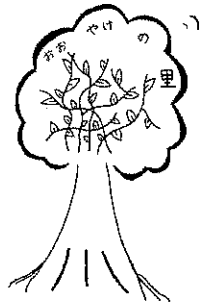
生後四カ月までの乳児のいる家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」という取り組みの一環で、ご縁があって山科区で産まれた乳児を対象に渡す「巾着袋」を毎月作らせてもらっています。さをり生地を動物や乗り物などの形に切り取り、ワッペン風にミシンで縫いつけ、さらに、少し寂しさや物足りなさを補うために、ワンポイントで可愛らしさがでるよう手縫いで“ビーズつけ”も行っています。

“ビーズつけ”で私が大切にしている事は、ビーズをつける事によりワッペンの長所を出せるよう、また、「何を現わしているのかな？」と想像力を掻き立ててもらえるひとときを、親子で過ごして頂ければ良いなと思っています。アイデアは毎回、ふと思いつく事もあれば思いついても納得のいかない事もあり、様々ですが、手間を省くと似たような物ばかりでつまらなくなる一方、少し凝った物にすると一枚に時間を使い過ぎてしまうため“程度良いバランス”が未だに掴めず、やり始めはいつもイライラし、ため息をついています。

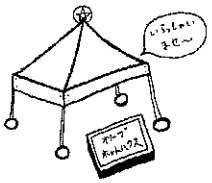
現代は少子化にあるため、「赤ちゃんの誕生」は特に大事なイベントにあるでしょう。その中でも「巾着袋」を通してではありますが、地域社会に関われている事を私自身、凄く誇らしく思うのと同時に、「産まれてきてくれてありがとう。」という気持ちをこれからも「巾着袋」という形ではありますが、たくさん作って届けていきたいです。

みんなの「お祝い袋」になりますように。(ヒトミ)

出張販売 〜おおやけの里へ〜

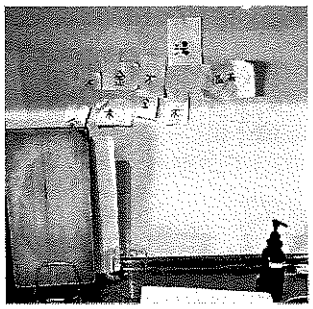


コロナで延期になっていた出張販売が実現しました。焼きたてのパンやお菓子、ナスやピーマンといった夏野菜、さをり織りの小物達と、販売スペース一杯に品物が並びました。おおやけの里にきていた実習生さん達と一緒に準備が進みます。オリーブを紹介するポップを元気で活発な笑顔で進めてくれました。販売時間になると次々と利用者さんや職員さんが品物を見にきてくださいました。パンを選び野菜を手に持ち何を作ろうかと考えている利用者さん、カラフルな色彩の小物を楽しそうに選ぶ職員さんと、ゆったりと賑やかな時間でした。買い物は年齢を問わず胸が躍るイベントですね！利用者さんの笑顔、職員さんたちの笑顔と、みなさんの楽しそうな様子を見ておおやけの里の良い雰囲気が伝わってきました。そのうち私もお世話になろうかなぁ。(河)



オリーブの日常

オリーブの至るところで目に入ってくる張り紙たち。その幾つかを今回はご紹介させていただきます。(E17)



恐らくお茶のポットに張られたりしているものですが、なぜ木・金だけなのかなど、なぞが尽きません。

食事場隅のごみ箱です。とても大きい字で分かりやすいですが、右側のものほど箱に年期が入っています。

コップのある棚のあたりのものですが、少し絵が入っていると雰囲気がなごみますね。それにしても、これは何のキャラクターなのか気になるところです。

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月（1.2.3.5.6.8の日）発行

カラオケ♪

♪おっひさ～だ

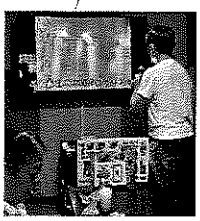
7月23日（水）はカラオケレクで、カラオケバンバンに行きました。コロナ前は同好会として開催していましたが、数年ぶりの開催となりました。

歌好きな方々が集まり、3部屋にグループわけをし、途中でシャッフルタイム。3時間近く歌ったり聴いたり、踊ったりしました。

普段は交流が少ない方とも、歌を通して新たな交流ができたり、知らない一面を知ることができたり、それぞれにいろんなことを感じる機会にもなった気がします。

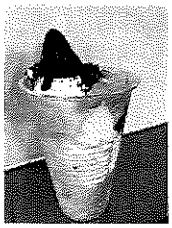
●初めてレクリエーションに参加されたメンバーさんが短歌で感想を。

弾けたネッ
又 行きたいナ
リフレッシュ
歌い楽しく
ダンシングもネ
（KAN子）



スイーツ同好会

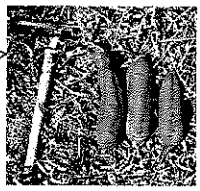
8月22日（金）作業後、かき氷☆パフェの会を行いました。事前の買い出しでは予算ギリギリを狙うための作戦会議を行い、目玉は1個丸々のパイナップルに決定。当日、そのパイナップルを捌いたりかき氷機を使ったりしました。加工からの提供品もあり、良いアクセントになっていました。皆思い思いの盛り付けをしてほぼ無言で堪能。最後は感想を絵手紙仕立てで発表し合い、お腹も心も満たされたひとときでした。（N）



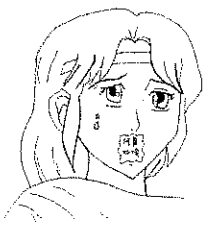
石焼き芋～

おいも

芋の季節
守山の畑でさつま芋（紅はるか）の収穫が始まっています。しばらく寝かせて、もうすぐ店前で石焼き芋が始まります。



ちょっと小話



「北斗の拳」という漫画をご存知だろうか？原作者が抱えている他者や暴力への恐れが阿鼻叫喚となって漫画に反映されている。混沌とした世界は日本最古の書物の古事記においても同様で、やおよろずの神が活殺自在の世界を彷徨っていた。海の向こうのアラビアンナイトなる世界においても人々は千辛万苦を重ねていた。

私の担当医いわく「人生は修練であり、苦しいものからこそ、あの世へ持っていく核心が得られる。」とのことで、これを伝説のプロ野球選手の中西太さんは何苦楚（なにくそ）と表現し、生涯の座右の銘とされた。

北斗の拳の登場人物リンちゃんは声を振り絞る。「私は悪魔には従わない。たとえどんなことがあっても。悪魔に屈したら人間じゃなくなる」

私自身も逆境に感謝することはできなくとも、悪魔に魂を売りはしない。（松岡）

グルメリポート

メンバーさんが地域で食した店を、今年度は紹介していきます。

今日は孤独のグルメごっこと称して、ひとりで自宅近くの洋食グラトニー京都山科店へ行ってきました。メインはオムライスをたのみました。

卵がかわっていて、黄身まで白いのを使っているとか。トッピングは海老フライです。

生のトマトは苦手なのですが、ここの冷製トマトは抵抗なく食べられました。ハンバーグも美味しそうだったので、次回お楽しみ。

駐車場、少しわかりにくい所にあるので、あらかじめ電話して聞いた方がいいかも。

洋食グラトニー京都山科店
山科区御陵中内町38-8
Tel070-1780-0999

理事長のひとこと

「適切に福祉サービスが提供されるためには」

京都市が就労継続支援B型事業所の指定に対し、新規の指定を行わない「総量規制」と指定に当たっての「公募制」を行うようです。必要な見込み量に対し、供給量が上回っており、事業所間で利用者確保の競争の激化や、供給過多による障害福祉サービスの担い手不足への影響等を懸念してのものです。確かに、事業所の数は非常に増えており、利用者がサービスを選択できたり、自分の得意を生かすことができたりとメリットも当然たくさんあるのですが、上記のようなデメリットの方が上回ってきた結果でしょう。事実、利用者を獲得しようと営業活動に躍起になっている事業所は存在しますし、立ち上がったがすぐに閉鎖をしてしまう事業所も後を絶ちません。どの業界でも人材不足が課題になっているように、福祉に従事するスタッフもある意味取り合いになっています。

福祉は人の暮らしを支えるインフラであり、国が責任を持って計画的に確保していくものだと思います。なので、市場原理に任せるのではなく、市場原理を部分的に取り入れた「準市場」を形成し、サービスの価格は一定に調整されており、各事業所で決められないものになっています。つまり、世間で販売されている製品のように、私たちのサービスはいくらなのでと勝手に価格を決めることはできず、購買力の弱い利用者が排除されないようになっています。また、市場原理を取り入れることで競争原理が働くので、画一的なサービスを実施するのではなく、各事業所が創意工夫をすることでサービスの質が向上することが期待されます。ただし、準市場が意図通りに働くとは限らず、利潤の最大化を目指そうとすると、クリームスキミングと呼ばれる効率の良い利用者を集めるようになります。それらを解消していくためには、今回のように新規参入を規制することと同時に現在指定を受けている事業所を底上げしていくことが求められます。また、総量規制により、障害特性に特化した利用者を受け入れている事業所が定員いっぱいになると、希望があるのにそこに通えなくなったり、個々の事情で距離的に離れた事業所に通えない方が、近隣の事業所がいっぱいで通えなくなったりと様々に他の問題も起り得ます。規制と給付が行政の役割なので、福祉が適切に必要な方に届くように私たちも様々な形で協力ができればと思います。行政や非営利、営利といった種別に捉われず、目の前の利用者のため、誰もが住みやすい地域になるため、改めて協働をしていく姿勢が求められているのだと思います。

着物寄付のお願い

オリーブでは寄付で頂いた着物で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切に使わせて頂きます。

編集後記

・今回は味気ない文章になりました。(前進我道)

・個人的にはいろいろと忙しいこのごろですが、こうしてみんなで一つのものを上げるって、何かいいなと今回は感じました。(E17)

・10月からまた値上げ。ちなみに、薬局の食料品が安価で売られている理由は薬だけの利益だけでは厳しいからだそうです。「価格比べ」をして上手にお買い物したいですね。今回もありがとうございました。(ヒトミ)

・旅行に行くといつもお土産に迷ったり、結局買えば良かったと後悔することが多いのですが、今回のオリーブの一泊旅行の自分へのお土産は海藻を4袋。お土産もそれぞれ個性が出て面白いなあと毎回思います。(はま)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行

いつもありがとうございます。

岩村チエ子様、佐藤純様、大河内清子様、木谷真人様、木谷恵様、(株)大曜様、京都奉製(株)様、大井啓吾様、谷直介様、冨士真文様、なかのとしこ様、三代一枝様、田中様、ダイゴ様、京都ほっとはあとセンター様、総本山醍醐寺様、洛和会ヘルスケアシステム様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリバリー京滋様、竹之内運送(株)様、里地会クリニック様、(株)ヤマシナ様、オーガニックマーケットしが実行委員会様、国際交流の会とよなか中園様、ケーアンドアイ様、近畿オービス(株)様、(株)キョークロ様、カフェプランタン様、京都中小企業家同友会様、ゆめハウス様、介護老人保健施設おおやけの里様、(有)アグロス胡麻郷様、(一社)サンライズ様、京都社会就労センター協議会様、京都新聞社会福祉事業団様、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、山科区役所保健福祉センター様、京都府高齢者支援課様、山科区役所子どもはぐくみ室様(令和七年七月～令和七年十月順不同)

※オリーブだよりのバックナンバーを読みたい方は、ホームページに掲載しております。

オリーブだより 2025年10月編集
発行人
関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
編集人
オリーブホットハウス
社会福祉法人 オリーブの会
京都市山科区東野中井ノ上町3-33
TEL：075-591-4669 FAX：075-591-4679
ホームページ http://olive-net.info/
フェイスブック
https://www.facebook.com/olivehothouse/
メールアドレス
olive-cw@rio.odn.ne.jp
定価 50円